

# 地域ネットワークニュース

～平成29年5月の勉強会のお知らせ & 4月の勉強会報告～

## 第232回 地域ネットワーク勉強会

精神科ドクターに聞く！

### 「うつ病と五月病の違い

### ～早期発見・治療の重要性～

講師：児玉医院 副院長 児玉知之 氏（精神保健指定医）

5月25日(木)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館

2階 研修室

参加費無料

進学や就職、人事異動、転勤などで、4月に自分を取り巻く環境が変化した方も多いのではないのでしょうか。この時期は、慣れない職場で気が張った状態が続く、場合によっては期待していた生活と現実が異なる、地域や職場の慣習の違いに戸惑うなどにより、ストレスを抱え込みやすくなります。

時間の経過とともに環境に慣れ、ストレスを自然に発散できるようになれば、いわゆる五月病と言える程度で済ませられます。しかし、意欲低下、食欲不振、不眠などの症状が現れた場合は注意が必要です。そのままの状態が続くと、うつ病に移行する危険性もあります。

今回の勉強会では、平成28年6月から心療内科・精神科専門外来が始まった児玉医院の児玉副院長をお招きし、うつ病と五月病の違いや身体のちょっとしたサインから見る病院受診のタイミング、治療を受ける際のポイントと不調にならないための予防策などを精神科医の立場からお話していただきます。

体調がなかなか優れない方や受診をするか迷っている方、またそのご家族、企業等で従業員の健康管理を担当している方など、ストレスや精神疾患に関心のある方々のご参加をお待ちしております。



※当日は勉強会会場内に情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所のパンフレットやチラシ、研修会案内などありましたら是非ご持参下さい。ご参加頂く皆様からの情報をお待ちしています。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：飯田 電話 0299-93-0294

## 第231回 地域ネットワーク勉強会報告

平成29年4月27日開催

<参加者74名>



### 発達が気になる子の支援～発達検査の理解と活用～

講師：海老原朱美氏

【茨城県発達障害者支援センター（臨床発達心理士）】

今回の勉強会では、茨城県発達障害者支援センターの海老原さんをお招きし、心理検査の内容を中心に話していただきました。

心理検査は、個人の特徴・特性を明らかにするもので、「客観的に自分と特性を理解する」「周囲の人に自分の特性を客観的に理解してもらう」「検査の結果から支援・指導・環境調整につなげる」「支援法が適切かどうかの経過が分かる」などの効果的な活用法があります。

講師の海老原さんから「同じような相談内容やお子さんの状態でも、原因や特性は人それぞれです。主観・経験・印象だけではなく、客観的な指標による評価も大切で、保護者や担任の先生への聞き取りした内容、本人を観察したデータを検査結果（数値）などと照らし合わせて分析することにより、支援方法を考える手立てとして利用することができるようになります。」と参加者の皆さんに伝えていただきました。

検査の結果は具体的な支援に役立ててこそ意味があること、単純に数値を出すための検査ではなく、その結果をきちんと活用していくことが重要であることを学ぶことができました。